

中瀬中学校の改築について



1. 改築に至る経緯

杉並区の学校施設の状況

- ・区立小中学校のうち、築50年以上の建物を有する学校は約半数。
- ・昭和50年代をピークに減少傾向にあった生徒数は、近年増加傾向にあるが、中長期的な視点で見ると人口減少が予測されており、今後の学校改築に当たっては、将来の生徒数の減少を見据えた柔軟性のある施設づくりが求められている。
- ・中学校では、学びの場にとどまらず、地域コミュニティの核として学校施設を活用することが求められている。
- ・今後更新時期を迎える学校施設の老朽化に的確に対応するため、施設の長寿命化による有効活用と年度毎の平準化を図った改築の計画を現在策定中。

中瀬中学校の状況

昭和23年	開校(天沼第二中学校として若杉小学校の教室を借りてのスタート)
昭和24年	現在の地に「中瀬中学校」校舎(旧校舎)建設
昭和35年	管理教室棟(現校舎)建設
昭和36年	体育館建設
昭和41年	プール建設
昭和49年	特別教室棟建設

改築計画の具体化(区)

平成30年度	杉並区実行計画により改築事業の計画化、 中瀬中CS・下井草地区町連に情報提供
平成31(令和元)年度	改築計画内部検討
令和2年度	「中瀬中学校改築検討懇談会」設置、基本設計策定

2. 中瀬中学校の概要

●生徒数・学級数の推計(令和2年度は実数)

年月日	生徒数	学級数
令和2年度	423	12
令和3年度	438	13
令和5年度	484	14
令和7年度	426	12

●施設規模等

敷地面積	校舎面積	運動場面積 (有効面積)	体育館面積	プール
11,772㎡	6,205㎡	約4,900㎡	862㎡	25m × 11m

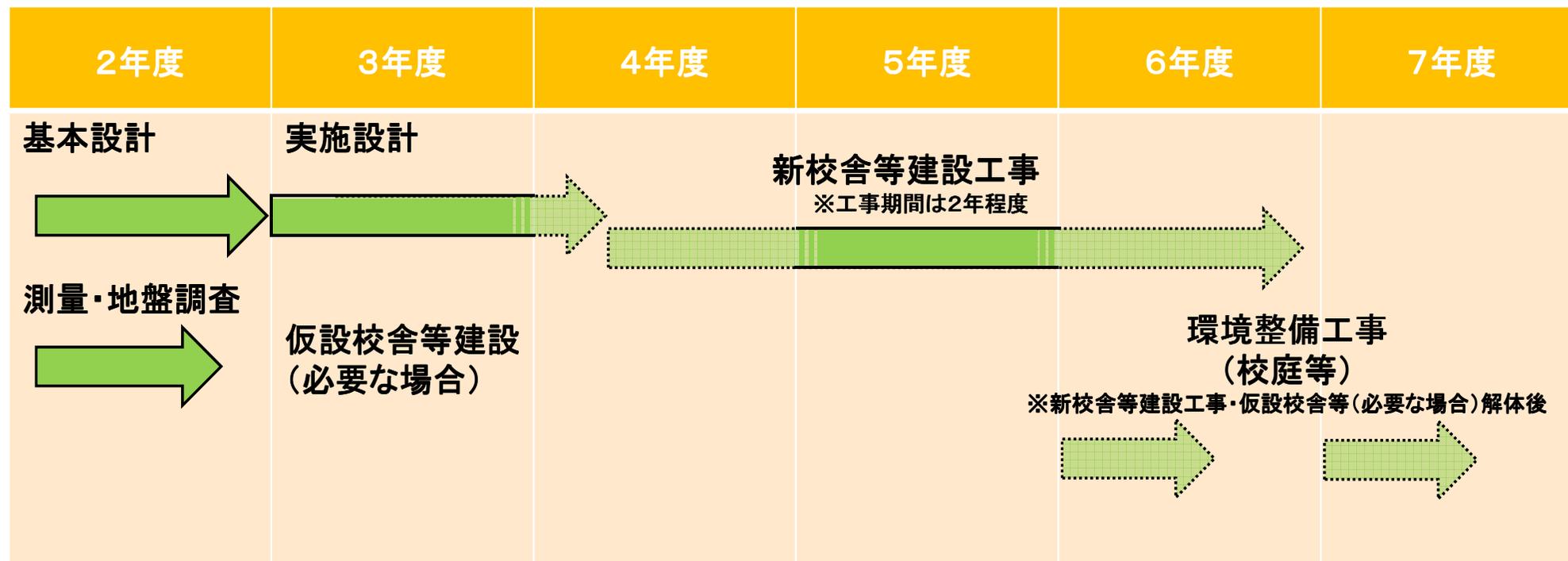
3. 改築検討における主な視点

- ・将来の生徒数の変化(ピーク想定)を見込んだ施設づくり
- ・現在の敷地にある高低差とバリアフリー対応への工夫
- ・さらなる防災機能の充実や地域に開かれた学校づくり
- ・コスト面等を含む総合的な視点に立った施設づくり
- ・杉並区施設白書に示された、築80年を目指した長寿命化の考え方に基づく改築
- ・懇談会等での保護者、学校関係者、地域住民等の意見を踏まえた検討

4. 懇談会の開催予定

回数	月	検討内容(案)
説明会	2月 (2月27日実施)	学校概要説明、改築計画概要説明
第1回	7月 (7月27日)	改築基本方針、計画地の概要
第2回	8月 (8月21日)	施設見学(松溪中・井草中)
第3回	9月	改築基本方針、校舎配置(案)
第4回 第5回	10月・11月	校舎配置(案)、平面計画(案)
第6回	12月	平面計画のまとめ
	12月	検討状況について、保護者・地域説明会
第7回	1月	懇談会まとめ骨子について、工事工程案について
第8回	2月	懇談会まとめ案について
	3月	基本設計完成

5. 改築想定スケジュール



令和6～7年度に新校舎使用開始

※敷地条件・校舎配置プラン・工事範囲等により、工事期間等は前後します。